

## 令和元年度第2学年文型課題研究 タイトル及び要旨一覧

班番	タイトル	要旨
101	勉強と生活習慣の関係について	豊田西高校に入学して、中学生の時より勉強時間も量も増加した。そこで、限られた時間の中で効率的に内容を定着させるにはどのような生活をし、どのように勉強を生活に組み込めば良いかを調べようと思った。そこで、インターネットで検索してみると、「睡眠を長く取るの方が成績が良い」など真偽が不明確な勉強と生活習慣に関係するうわさがあった。今回はそれらが正しいのかどうかを豊田西高校2年生へのアンケート調査をもとに考えた。
102	おいでよ！！おいでん祭り！	昨年には、ラグビーワールドカップが開催され、豊田も会場となりました。豊田の名が世界中に広まる今、豊田の大イベントともいえる「おいでん祭り」をよりよくしようと考えました。日本有数の花火の打ち上げ量や来場客数を誇る「おいでん祭り」ですが、まだ改善点は残っています。未来を担う私たちが、豊田を盛り上げるために、今できることを考えました。
103	教員の労働問題についての分析	近年、OECDなどの調査から先進国を中心に教育への提言が活発になされるようになった。また日本においても教員の働き方改革が強調されている。教育現場における労働環境の問題はあまり改善されていないのが現状であり、教員のなり手不足も指摘されている。そこで、私たちは国際的な基準から日本の教員の多忙化解消の解決策を探った。
104	人ってやっぱり見た目の？	大人になり社会に出ていくにつれて、初対面の人との出会いが増えていきます。また、初対面で得られた印象は、その人の今後の印象を決めてしまうこともあります。そこで私たちは、「第一印象を気にするか」「第一印象を決める要素は何か」についてアンケート調査を実施し、このテーマについて研究を行いました。この研究が気になった人はぜひ来てください。
105	方言によって与える印象の違い	私たちのグループは方言について取り上げ、方言が与える印象の違いについて研究しました。東日本大震災の時、復興スローガンに現地の方言が用いられており、なぜ用いられているのか疑問に感じたのでこの研究を始めました。また、人々が生活の中、欠かすことのできない会話をする際、言語的要因がどのような影響を与えるかを比較しました。
106	ダメ！って言われたらどうする？ ～心理と行動の関係性～	押すなど言われたら押したくなる、見るなど言われたら見たくなる経験が皆さんにもあるのではないのでしょうか。私たちの班では、自分の意志と反することを言われたとき、その人がどのような行動をとるのかに興味を持ちました。人間の心理について知ること、リーダーとしての素質の向上が期待できると考えたので、アンケートと、昇降口にボタンと押すなど書いたボードを設置し、押した人数を数えるという二つの方法で調査しました。
107	効率的な睡眠、したくない？	豊田西高校の生徒は、日々、課題や予習・復習に追われ、高校生になってから十分な睡眠時間が取れないでいると思います。しかし睡眠時間を増やすことはできないので、限られた時間でできるだけ疲れを残さないかつ、質が高く、効率の良い睡眠をするための条件・方法を考察し、自分たちの体を被験体として、実際に検証して調べてみました。
108	昔のヘアケア方法	みなさんは「きれいな髪」と聞くとどのような髪を想像しますか。今日では様々なヘアケア商品が販売されているが、シャンプーでさえ存在していなかった時代では何で髪をケアしていたのか。古い文献を調べていくうちに、現代でも身近なあるものを使っていたことがわかった。実際に試し、その成分と髪の成分を調べ、なぜそれが髪によいのかを考えた。
109	理想的なリーダー像	今日では世界や日本においてリーダーの資質が問われている世の中だと言える。そのような状況になかで私たちは日本の歴史上の成功した人物から現代に必要なリーダー像を示すためのヒントをアンケートをもとに探し出し考えた。また、その歴史上の人物をランキング付けし上位者の共通点を探し出し、現代に必要なリーダーの要素についてもまとめて示した。

班番	タイトル	要旨
201	苦勞が多いのは左利きだけ??	現代の日本は右利き社会であり、左利きの人には利き手による苦勞があるが、右利きの人には苦勞が全くないと思われがちです。しかし、苦勞をしているのは本当に左利きだけなのか!?そこで、私たちは76回生にアンケート調査を実施しました!! 利き手の割合、利き手によってどのような苦勞があるかなど実は皆さんが日々の生活の中で知っているようで知らないことが盛りだくさん!ぜひ、見にきてください!
202	ぼくのおじいちゃん・おばあちゃんへ	皆さんは昨年4月に「上級国民」のフレーズで話題となった池袋で10人の死者と負傷者を出した自動車暴走事故を覚えていますか。最近、高齢者による事故が増えています。そこで、私たちは自動車免許返納に注目し、高齢者に対してアンケート調査を行い、免許返納に対する意識や返納が進まない原因や理由を調査しました。これからの高齢者社会に向けて、高齢者にとって住みよい社会にするための取り組みについて考えました。
203	自動車の 豊田に広めよ おいでんバス	日頃からおいでんバスで通学をしていて、マナーの悪さが目立ち実際に足をけがしたときに不便に感じた。祖母も、日常生活でおいでんバスを利用したときに同じように感じていると言っていた。そこでマナーの改善をするためにはどのようにすれば良いのかと考え、今回の研究に至った。また、市役所の方々に協力を仰ぎ、アンケートの結果を共有することで、連動しておいでんバスの利用率向上を目指す。
204	意見を言おう、日本人!	香港などで若者によるデモがあるのを見て、なぜ日本ではデモを起こして自分の主張を伝えている事例が少ないのか疑問に思い、日本人は自己主張することに苦手意識、または遠慮する気持ちを持っているのではないかと仮説を立て、「日本人が効果的に意見を伝えるにはどうしたらよいか」を調べるために西校生がどのくらい意見を伝えられているかを調査した。
205	音で味は変わる!?	あなたは、食べ物の好き嫌いがありますか?私たちは、「好き嫌いアンケート」を行い、その結果から好き嫌いの主な原因は味であることが分かりました。そこで、音が味に影響していることを知り、2種類の音楽によってチョコレートの味がどのように変化するかを実験しました。はたして、音による味の変化は、好き嫌いをなくすことにつながるのでしょうか!?
206	「働き方改革」をより良くするためには	近年、労働災害やブラック企業などの労働問題が大きく取り上げられている。この現状に対し、政府は企業に向けて「働き方改革」として、時間外労働の制限や有給休暇の取得等を義務づけた。しかし顕著な成果は出ていない。そこで、我々の班は生徒の保護者に労働状況についてアンケート調査を行い、本当に必要とされる「働き方改革」について議論し、提案した。
207	あ、たべたい!	現在、日本経済では同業他社との競争が激化している。商品の味や価格において差をつけるのは限度があるため、多くの企業が商品そのものだけでなく、それを宣伝するパッケージにも時間と経費をかけている。私たちもパッケージつられて買う経験があったため、色に対する印象やデザインについて研究した。より購買意欲の影響するパッケージとはどのようなものだろうか?
208	Libraries are one of the causes of publish deflation, but needed.	近年、出版不況の時代と言われており、事実、本の著作者にお金が入っていないことが問題となっている。そこで、我々は図書館で借りられている本を読んだ読者数分の実質的な売上げが存在していることに気づき、ここに対する補償を実施すれば、この問題はある程度軽減できると考え、公共貸与権という海外で実施されているが、日本では導入されていない制度に着目して研究を行った。
209	観光資源の特色・傾向の分析に基づく豊田市観光産業プロモーション提案	近年、観光産業は経済の担い手のひとつに挙げられるほどの成長を見せている。各自治体が多様な観光資源を開発、提供している中で、わたしたち高校生の視点から地元豊田市の観光産業の在り方について考察した。特に、主要な観光名所とその周辺のエリアの設備の充実を研究の主題とする。市の特色と豊田市観光産業の現状から見直し、豊田市に最も適した観光産業の形の検討と具体的な改善案の作成を行った。

班番	タイトル	要旨
301	死刑制度を廃止するには	現在、世界各国で死刑制度が廃止されているなか日本では今もなお死刑が執行されている。私たちのグループは死刑制度を廃止するための条件を考えた。Web アンケートを実施し、現在の死刑制度を廃止することに対する考えを調査した。専門家の意見を取り入れ、終身刑の受刑者に対する費用を削減したりすることにより終身刑が取り入れられ、死刑制度が廃止されるのではないかと考えた。
302	西高生の交通安全マップを作ろう！	愛知県は交通事故が多い県として知られている。我々が豊田西高校でも交通事故が多発している。そこで私たちは平成28年度から、豊田市内で西高生が関わった交通事故を調べ、分析し、西高生の交通安全マップを作成した。交通安全マップをたくさんの西高生に見てもらうことによって西高生の交通安全の意識を高めていきたい。
303	「モーいちど」をひろめよう	みなさんは「モーいちど」を知っていますか？「モーいちど」は豊田市のオリジナルリサイクル商品であり、品質も良く、環境にも優しいです。しかし、認知度が高いにも関わらず、あまり購入されていないということに私たちは疑問を抱きました。「『モーいちど』を広めたい！」という思いから、どうしたら売上を伸ばすことができるかを考察し研究を進めました。
304	あなたのイスラム	2020年に開催される東京オリンピックで多くの外国人が訪れ、外国人観光客の数が増加すると予想されている。そこで、日本人はどのくらい、外国人への偏見を持っているかを調査する。そこで、豊田西高校の生徒を対象に、近年よくニュースで取り上げられているイスラム教に焦点を当てて、どのような偏見があるかを把握する。
305	豊田市の免許返納の実態	近年、高齢者による交通事故が頻発している。事故を減らすため、豊田市に焦点を当てて免許返納がどれだけ進んでいるかを知ることにした。そこで、豊田市にある5つの老人クラブにアンケート調査を行い、高齢者の求める免許返納しやすい条件や、高齢者が返納しづらい理由を調べ、返納を促進するにはどうしたらよいかを考察した。
306	色と性別のイメージについて ～すべては東京オリンピックから始まった！？～	色彩嗜好について調べていたところ、それぞれの性別からイメージされる色が違うことに気づき、実際にはどのようなイメージがあり、どの程度それが浸透しているのか知るため2年生徒にアンケートを実施した。その結果、男性＝寒色系、女性＝暖色系というイメージがあるという結果が得られた。その後性別による色分けの起源についてもインターネットを用いて調査を行ったところ、1964年東京オリンピックとの関係があると分かった。
307	スマホの普及で日本の国語力が低くなる？	近年、若者の国語力が低下していることがよく様々なメディアで話題となっている。国語は様々な学問の基礎であるため、国語力の低下は危惧すべき問題であると感じた。社会全体でスマホの普及や読書量の低下など、国語力の低下に繋がる要因があると思った。そこで、アンケートや統計などを用いて現在の国語力の状況を調査し、低下の原因とその解決案を模索した。
308	献血意識向上のために～吸血鬼も行きたくなる献血～	現在、献血が不足しており、今後も減少すると推定されている。安定した血液の確保を実現するためにはどうしたらよいか。私たちは実際に献血ルームへ訪問したところ、高校生をはじめとする若者の献血率が減少傾向であることを知った。そこで、私たちは研究の対象を西高生に絞り、献血に関する知識や意欲のアンケート調査を行い、考察した。

班番	タイトル	要旨
401	もう天気は間違えない！	私たちは、毎日当たり前のように利用している天気予報について、どのメディアの天気予報が一番当たるのか疑問をもち、的中率の高いメディアが分かればより活用できるのではと考えました。そこで今回は新聞を使用して、各新聞の天気予報と実際の天気をデータ化し、その的中率を比較しました。また、メディアによって天気予報や的中率が異なるのは何故なのか研究・調査しました。
402	減らしたい！食品ロス ～店舗の取り組みと消費者意識に着目して～	日本で発生している年間約646万トンもの食品ロスの半分は家庭から出ている。そこで、私たちは消費者の食品ロスに対する意識、関心を高めるための対策を考え、食品ロスに貢献したいと考えた。そのためにスーパーにアンケートを取り、食品ロスの現状を把握し、要望も聞きながら、店に提案する食品ロス削減のための解決案を考えました。
403	高校生に新聞は必要？	現代ではインターネットが普及し、世の中の情報を簡単に得られるなか、高校生は新聞を読むことが必要といわれる。本当に新聞を読むことは必要なのか、やはり他の手段の方が世の中を広く知るためには私たちに合っているのか。今回は生徒へのアンケートや先生の意見をもとに新聞が高校生の間でどのように扱われているか調査した。
404	すべての人にとって暮らしやすい町づくり ～色覚バリアフリーの観点から～	現在の日本では、手足の不自由な方に対するバリアフリーに比べて色覚障がい者の方に対するバリアフリーはあまり普及していないように思われます。私たちは普及状況を確認し、色覚障がい者の方々の目線から、現状の問題点を捉え、改善策を考えようと思いました。そこで、まず豊田市駅周辺の環境を調査することから始めました。
405	目で防ごう交通事故	私たちが暮らす愛知県は、交通事故発生件数全国ワースト1位です。そこで私たちは、交通事故発生件数を減らすために何ができるかを考えたところ、標識などの視覚でとらえるものが身近だと思い、運転手の目線で実験を開始しました。まず色について調べ、そこから仮説を立ててTシャツの色を変えたり、標識の色を変えたりして実験し、解決策を探りました。
406	みんなが捨てたくなくなるゴミ箱を作ろう	イベント時に路上にたくさんのごみが落ちているのを見かけて、人々がごみを入れたくなくなるゴミ箱を作れば、路上からごみが減るのではないかと考えました。色についての印象やイメージについては様々な研究がなされていますが、形についての研究は少なく、物のデザインなどに「なんとなくこの形」というように使われている場面もあります。そこで形についての印象を明確にするため、この研究を行いました。
407	第一印象のその後の変化について	初対面の人などに対して悪く思われまいにしようとして焦ってしまったり、緊張してしまったりする人は多いのではないのでしょうか。そこで私たちは、相手に与える第一印象はどれほどの影響力を持ち、その後印象はどのように変化していくのかをアンケート調査をすることで情報収集をし、第一印象を与えた行動の仕方のついて考察しました。
408	今日から君はインスタマスター！	インスタグラムの普及によって、写真や動画を目にする機会が増え、「インスタ映え」という言葉もよく耳にするようになりました。そこで私たちは、インスタ映えする、すなわち人の目を引く写真や動画とはどのようなものか、色彩とそれに対する人のイメージの持ち方の観点から調査しました。気になる人は、ぜひ見に来てください。
409	高校生にウケる映画に隠された秘密～宣伝に着目して～	企業にとって宣伝は商品を出すうえでとても重要なものである。そこで映画の宣伝を例にとり高校生にはどのような宣伝が効果的なのかを調べた。また消費者の心理や行動についての研究はいくつか行われている。しかし、それらは私たち高校生にとって身近でなく理解しがたい。そこで高校生にとって身近な映画の宣伝の広告を用いて調査することで消費者の心理や行動を理解し、分かりやすく伝える。